

**7月26日(金)記者懇談会のご案内 国際交流基金**

**初来日 インドの社会起業家、アーユルヴェイド医院の創業者と  
ソーシャル・ベンチャー・パートナーズインド代表  
「日本とインドの起業家が語る、ソーシャルイノベーションの可能性」**

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は2013年の2月に日本の社会起業家をインドに派遣し、ニューデリー、マトウラ、バンガロールにてフィールドワークや現地の社会企業訪問、成果発表会を行いました。今回は、そこで出会ったインドの社会起業家の中から2名を招いて、事業報告会と記者懇談会を行います。招聘者のラジブ・ヴァスデヴァン氏は、品質管理手法を用いることでインド伝統医療の標準化・高品質サービスの提供を実現した、アーユルヴェイド医院の創業者・CEOです。また、アラティ・ラックスマン氏は社会起業家支援のためのグローバルネットワーク、「SVPインド」のCEOとして活躍しています。健康志向が高まる中、心と身体の調和に基づく「予防医学」を重視するアーユルヴェイドの考え方は、日本でも注目を集めています。5000年の伝統を持つアーユルヴェイド医療の革新に取り組むラジブ・ヴァスデヴァン氏の初来日です。



- 日時 2013年7月26日(金)  
14:00~18:30 事業報告会(一般参加者あり)  
18:30~19:15 記者懇談会

- 会場 国際交流基金 本部(東京都新宿区四谷4-4-1)  
最寄駅:東京メトロ 丸ノ内線 四谷三丁目駅 1番出口 徒歩3分

※ 英語と日本語の通訳(逐次)が入ります。  
※ 個別取材をご希望の方は、事前にお知らせください。多数お申込の場合は取材いただけない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

- 申込方法 別紙の「取材申込書」をFAXでご送付、もしくは [press@jpf.go.jp](mailto:press@jpf.go.jp) へご返信ください

※仙台ワークショップ「インドと日本の社会起業家と考えるソーシャルイノベーション」

日時 2013年7月25日(木) 10:30~13:00  
会場 ヒューモスファイヴ・貸会議室42(仙台市青葉区中央1丁目10番1号)  
発表者 ラジブ・ヴァスデヴァン(アーユルヴェイド医院創業者・CEO)  
アラティ・ラックスマン(SVPインドマネージングパートナー)  
荒昌史(HITOTOWA Inc. 代表取締役)  
竹井智弘(一般社団法人MAKOTO 代表理事)  
須永浩一(Yahoo!石巻復興ベース)

お問い合わせ : 国際交流基金 広報 : 良知 電話 : 03-5369-6075

**ラジブ・ヴァスデヴァン Rajiv Vasudevan (アーユルヴェイド医院 創業者・CEO)**



アーユルヴェイド医院設立者・経営責任者であり、伝統医療アーユルヴェーダに統計的管理手法を持ち込み革新を行う。民間・公的セクター問わず、モトローラ社のインド代表を務めるなど、多様な分野でリーダーシップを発揮している。また、ケララ州政府でテクノパークのCEOやITミッションの責任者などを務めた。国立工科大学（NIT）カリカット校で科学技術学士（機械工学）、インド経営大学（IIM）カルカッタ校でMBAを取得。2007年には医院・医療提供者の国の認定評価委員会・インド品質評議委員会において、アーユルヴェーダ分野から初めて‘査定者’として認定された。さらに、アーユルヴェーダ医院に対するNABH（病院・医療提供機関の全国認定委員会）の認定基準を作るインド政府の技術委員会メンバーとして活動している。

**アラティ・ラックスマン Arathi Laxman (ソーシャル・ベンチャー・パートナーズ インド CEO)**



世界に26の支部を有するベンチャー慈善団体である、SVP（ソーシャル・ベンチャー・パートナーズ）をインドで立ち上げ、SVP India（正式名：SVP Philanthropy Foundation）のCEOを務める。SVPの各支部は助成金の提供、ボランティア活動、非営利組織の能力開発を通して、地域コミュニティにおいて社会的インパクトを起こそうとする個人を集める。SVPIに携わる以前は、世界銀行やアクセンチュアから資金を得てウェイト・ピッカー（Waste Picker：ごみ拾いで生計を立てる人）らと革新的なプロジェクトを行った。彼らを再生紙製品を作るという持続可能なビジネスに組み込み、分野横断的なビジネスモデルの例を示した。この共同組織はStaplesや

Walmartのような大手小売チェーンに直接供給している。

**荒 昌史 (HITOTOWA Inc. 代表取締役/NPO 法人 Good Day 代表理事)**

1980年生まれ。2004年早稲田大学政治経済学部卒業後、株式会社コスモスイニシア入社（当時リクルートコスモス）。2006年新規事業コンペ最優秀賞を受賞し、CSR専門部署を設立。以降CSR全般を中心に、コーポレートブランド、住宅企画・プロモーションを担当。複数の携わった住宅がグッドデザイン賞を受賞。2010年独立、HITOTOWA Inc. 設立。

**岡部 友彦 (コトラボ合同会社 代表)**

1977年生まれ。東京大学大学院建築学修了。2004年から横浜寿町を拠点に地域活性化プロジェクトを行う。2007年 地域活性化伝道師任命。2008年 横浜文化賞文化・芸術奨励賞受賞。

**加藤 徹生 (社団法人 wia 代表理事)**

1980年大阪市生まれ。東北の復興を目指す社会起業家に投資を行う一般社団法人 World in Asia 代表理事/経営コンサルタント。2009-11年12カ国を旅し、ソーシャル・イノベーションのケーススタディ「辺境から世界を変える」出版。

**川添 高志 (ケアプロ株式会社 代表取締役)**

1982年生まれ。2005年3月 慶應義塾大学看護医療学部卒 在学中より経営コンサルティング会社勤務。東京大学病院で看護師として勤務中に、生活習慣病予防の必要性を認識し、2007年ケアプロ株式会社を起業。1年以上健康診断を受けていない日本人3,300万人をターゲットに「ワンコイン健診」を展開中。

**高橋 邦之 (NPO 法人ポレポレ 代表理事)**

1973年東京都生まれ。2000年エストニア渡航以来約10年、手工芸品を輸入販売し、高齢者の女性や、島嶼部、農閑期の雇用創出に寄与。2013年1月より、読み書きのできないカンボジア女性の雇用創出に取り組む SEDC との協働開始。

**林 曉甫 (元 NPO 法人 BEPPU PROJECT 事務局長)**

1984年東京生まれ。立命館アジア太平洋大学アジア太平洋マネジメント学部卒業後、NPO 法人 BEPPU PROJECT にて商店街や公共空間、商業施設など様々な場所を利用したアート・パフォーマンス・講演会などの事業を多数企画。

【国際交流基金 記者懇談会 参加申込書】

日時:2013年7月26(金)

「日本とインドの起業家が語る、ソーシャルイノベーションの可能性」

FAX 送信先 : 03-5369-6044

ご多用中の折、誠にお手数ですが、会場準備の都合上、7月25日(木)までに必要事項ご記入の上、FAX または Email([press@jpf.go.jp](mailto:press@jpf.go.jp))にてお知らせください。

ご出欠	<input type="checkbox"/> ご出席	<input type="checkbox"/> ご欠席
撮影	希望する	<input type="checkbox"/> VTR <input type="checkbox"/> スチール
貴社名		
ご所属		
貴媒体名		
ご芳名		
ご住所		
TEL/FAX		
MAIL		
通信欄	[インタビューや取材のご希望がありましたら、ご連絡下さい]	

お問い合わせ:国際交流基金 広報:良知  
電話:03-5369-6075